

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 7

令和3年 2月10日発行 袋井市幼児教育センター

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
思考・表現の基礎となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

数や形に興味や関心をもっと遊びます



形に興味関心を持ち、イメージしたものをつくる幼児



「10人とじゃんけん」遊びに挑戦

子どもは生活の中で、数量や図形に触れ、物の数え方や形の違い、長さや大きさなどに気付きます。その気付きから「物を数えて比較する」「形に興味をもって分類する」「形を組み合わせるものをつくる」など、生活や遊びに活用していくことで、数や形などの使い方を理解します。

子ども自身が、その必要性を感じて、日常的に数や形を取り入れていく体験を重ねていくことが大切です。

大人は、単に知識を教え、獲得することを目的にするのではなく、一緒に遊びながら、子どもがどのように数や形をとらえようとしているのか、どんな考えをもって遊んでいるのかなどについて知り、必要に応じてアドバイスをします。



四角や三角などの形を使って、タブレットの画面に絵を描く幼児

タブレット教材「できるーと」で得た体験を生かして

「できるーと」を使うことで「三角を2つ使うと四角になるんだ」「長い棒（長方形）を重ねると太い棒になるよ」と、今まで感覚として捉えていたことをタブレットの画面上で体験できます。その体験が遊びの中でさらに結びつき、思考力や表現力が高まります。